

無線ルーター AN-S092

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

SIM カードは同梱してません。

SIM カードの申し込みについて

■ SIM カードの申し込み



はこちら→

安全上のご注意

(安全にお使いいただくために必ずお守りください) あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

危険 「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。

警告 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

注意 「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の経表示で区分し、説明しています。

注意 (警告を含む) しなければならない内容です。 **強制** 必ず行っていただく強制の内容です。

禁止 (やってはいけないこと) の内容です。

使用上の注意

! 本機取り扱いに関するご注意

- 運転者は走行中に操作しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- 60°C以上の高温または-10°C以下の低温、および湿度の高い場所では本機を使用しないでください。
- 必ず付属のシガーライター電源ケーブルを使用してください。
- シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間をおいて熱が冷めてからシガーライター電源ケーブルを挿入してください。

! 電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく省電力データシステム 無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。
- 従って、本機を使用するときには無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。

DF 180082003
R 003-180005,210-166256

- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・ 分解 / 改造する。
- ・ 本機に貼つてある証明シールをはがす。
- 本機の周波数帯の電波を利用してています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用しているので、電波の干渉により無線機能の接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響をうけにくい方式ですが下記の内容に注意してください。
- ・ 無線 LAN を利用した AV 機器、防犯機器などをしようとしている環境で、本機の無線機能を使うと、接続が途切れたり、無線 LAN 機器の動作に影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
- ・ 火災警報器、ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、コンピューターなど）
- ・ 工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・ マイクロ波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・ 自動ドア、万引防止システム（書店、CD ショップなど）
- ・ 自動制御機器、その他、Bluetooth® 対応 機器や VICS (道路交通網システム)
- ・ アマチュア無線局など



- ① 2.4 GHz 带を使用する無線設備を表します。
② DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。
③ 想定される干渉距離（約 20 m）を表します。
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

接続・取扱

△ 警告

禁止 取り付けやアース配線に、保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを使用しない。制御不能や発火、交通事故の原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない。 電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所 同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。

禁制 交通事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。コード類は運転操作を妨げないように引いて回さないでください。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する。

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ（ごみ、ほこり、油）などを取り除き、しっかりと取り付けける。

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。

△ 注意

強制 取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する。正常に動作しない状態で使用すると、火災や強制感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する。

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ（ごみ、ほこり、油）などを取り除き、しっかりと取り付けける。

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。

△ 注意

禁止 ヒーターの吹き出しが近くに設置しない。製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない。熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所には取り付けない。

強制 本機を不安定なところに取り付けない。落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

シガーライタープラグを確実に挿入する。

挿入が不十分だと火災、感電の原因となります。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセスリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

使用方法

△ 警告

禁止 運転者は走行中に操作をしない。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

液体で濡らさない。 本機のカーボンスロットカバーに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れない。火災・やけ・けが・感電などの原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機を使用しない。

電子機器が誤動作するなどの影響を受ける場合があります。

***ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器・植込み型除虫器・その他の医用電気機器・その他の自動制御機器など**

シガーライタープラグ挿入時はソケットを回したり押し込んだりしない。

接觸不良により火災や故障の原因となります。

分解や改造をしない。 交通事故や火災、感電の原因となります。

分解禁止 使用後または長時間使用しない場合はシガーライタープラグを抜く。

強制 乗車によってエンジンを切ってもアクセサリーソケット電源が切れない場合があり、火災やバッテリー上がりの原因となります。

△ 警告

禁止 電源ケーブルを抜いたまま車を走行しないでください。電源ケーブルが切れたまま車を走行すると、車内に火災や感電の危険があります。

強制 本機を電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。

強制 本機は電波を利用してしているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う。

アクセサリーザケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

△ 注意

分解禁止 本機を分解しないでください。分解すると、火災や感電の原因となります。</

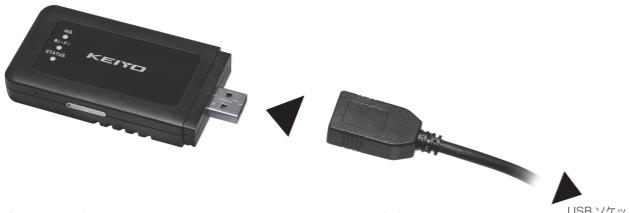
本体の取り付けと接続

1 本体を取り付ける

本体底面に、両面テープ付き面ファスナーを貼り固定面に貼り付けます。



2 USB 電源ケーブルを接続する



3 車のシガーソケットにUSBソケットを挿入する



4 起動確認する

取り付けと接続が終わったら、本機が正常に起動することを確認してください。

本機は、車のエンジンをオン（ACC ON）になると起動し、起動中は、本機のインジケーターが赤く点灯。起動が完了すると、本機のインジケーターが赤と緑に点灯。電源ボタンはありません。

APN 設定

通信事業者の接続先の設定

本機は初期登録されている通信事業者の接続先は自動で接続します。
自動で接続されない場合には、手動設定で設定を行います。

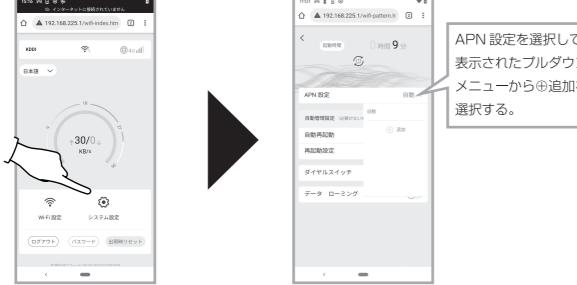
下記手順はスマートフォンのブラウザでの設定例です。

1 設定 Web 画面を立ち上げる

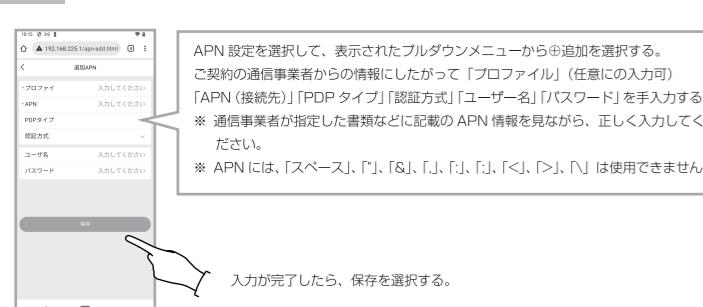
※設定画面の立ち上げは「SSIDとパスワード変更方法」の1を参照してください。

2 接続先の設定

・APN 設定メニュー表示



3 APN 設定



Wi-Fi ネットワークに接続する

1 シガーライター電源ケーブルを抜き差しまたは、リセットボタンを押して、本機を再起動する



2 スマートフォンなどのWi-Fi対応端末を本機のWi-Fiネットワークに接続する

スマートフォンの設定画面のネットワークの設定等で「KeiyoWi-FiRouter-XXXXXX」を選択し、本機とスマートフォンをWi-Fi接続する。
接続時の初期パスワードは「1234567890」です。
「このネットワークはインターネット接続していません。接続を維持しますか？」と聞かれた場合には「はい」を選択する。



SSID/パスワードの変更とリセット

SSID/パスワードの変更

Wi-Fi接続時に使用するSSID、パスワードは本書に記載されています。この情報を第三者に見られて、不正アクセスされる可能性がある場合は、SSID、パスワードを変更してください。

1 設定Web画面の表示

・パスワードの入力

本機の QR コードを Android 端末で読み込むか、iPhone や Wi-Fi 対応端末で Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「192.168.225.1」と入力する



2 Wi-Fi設定画面の表示



SSID/パスワードの変更とリセット

3 SSID/パスワードの変更

SSIDとパスワードを入力して「✓」をタップする。確認画面が表示されたら確認を押すと設定が反映されます。

設定が反映されるとWi-Fi接続が切断されます。再度接続してください。

使用できる文字は半角アルファベットの大文字小文字と数字です。



SSD/パスワードのリセット

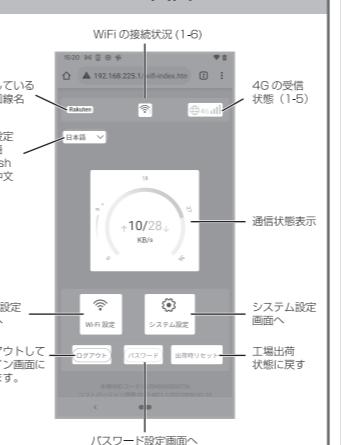
※パスワードを忘れた場合

本機のリセットボタンを 5 秒以上長押しすると、設定がすべてクリアされて、工場出荷状態に戻ります。
SSID とパスワードも初期設定に戻ります。手動で設定した APN 情報もクリアされますのでご注意ください。

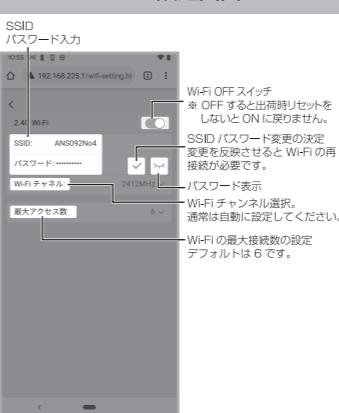


各種機能の説明

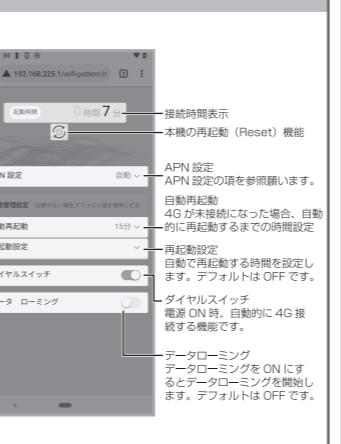
TOP 画面



Wi-Fi 設定画面



システム設定画面



パスワード設定画面



故障かな？と思ったら

症状	原因	対処
電源が入らない (STATUS LED が点灯しない)	シガーケーブルが接続していない	● USB シガーケーブルに電源が来ているか確認する。(USB シガーケーブルの青 LED が点灯しているか確認) ● 電源が来ていない場合は、ACC が ON になっているか確認する。ACC が ON で LED が点灯していない場合は、車両のアクセサリー電源のヒューズが切れていなかを確認する
無線 LAN の接続ができない	SSID、パスワードが間違っている	● 再度 SSID、パスワードが間違っていないか確認してください。SSID、パスワードで初期設定に戻った場合は、本機のリセットボタンを 5 秒以上長押しすると工場出荷時の設定に戻ります。
SIM カードが挿入されていない		● SIM カードを挿入してください。本機で使用できる SIM カードは nanoSIM カードです。
4G 接続ができない		● SIM カードで自動認識できない SIM カードは手動での APN 設定が必要です。設定方法は APN 設定の項を参照してください。
APN 設定がされていない		● 本機はすべての SIM カードに対応していません。IMEI 制限 (IMEI ロック) をされた SIM カードはご利用になれません。

比吸収率 (SAR) について

この機種「AN-S092」は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射物質防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に依存なく十分な安全率を含んでいます。国際技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) で定めており、本機に対する SAR の許容値は 2.0 W/kg です。取扱説明書に記載する通常使用の場合、本機の SAR の最大値 0.915 W/kg です。本機は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力を有するよう設計されています。ただし、本機の SAR は他の製品によって SAR に多くの差異が生じることがあります。いずれも許容値を満足しています。本機は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力を有するよう設計されています。通常 SAR はより低い値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、本機の出力は小さくなります。通信中は、身体から 2cm 以上離し、かのそ間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認できます。世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究を行わせてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じたされるいかなる健康影響も確立していません」と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/phe-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
総務省のホームページ：<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
一般社団法人電波産業会のホームページ：<http://www.arib-emf.org/indexO2.html>